



福祉

細井藤夫 議員 (WAKABA)

「こどもの居場所」をどう考えるか

答弁…児童虐待防止のための環境づくりが重要

問 埼玉県議会で撤回された虐待禁止条例改正案は、「子どもだけで公園で遊ぶ」など、従来は一般的に普通とされた行為まで虐待となりかねない理由から反対された。

条例案について、また、本市の虐待防止のための取組について市長の思いを伺う。

答 条例案の子どもの安全を守るという理念は理解できるが、ここまでの規制は必要ないと考えていた。児童虐待防止の取組は、虐待が起こらない環境づくりや早期発見、早期対応が重要であり、地域の関係機関がより一層連携した支援体制の強化が必要である。児童虐待防止の啓発ポスター



経済

コロナ対策貸付の市内経済への影響は

答弁…迅速なセーフティネット保証認定を行う

問 日本政策金融公庫などが行った特別貸付は、貸付規模が大きく、経済への影響から対策を検討すべきものとする。経営者側の借換えの問題もあるが、労働者の失業対策も重要である。再就職先が見つからない市民に対する求職支援が必要と考えるが、いかがか。

答 経営者支援は、国が創設した新たな借換え保証制度を紹介し、この制度を利用するために必要なセーフティネット保証認定を迅速に行っている。求職支援は、ハローワーク春日部の求人情報をオンラインにより市役所窓口で提供などを行っている。



交通

江原浩之 議員 (白和)

都市計画道路白岡駅西口線は

答弁…都市計画道路白岡駅西口線の現状と今後

問 白岡駅西口駅前広場と白岡駅西口線の用地取得の進捗状況と整備費用は。今後のスケジュールはどうなっているか。また、区間3※1については、表層整備すれば、すぐに開通できるのではないか。用地取得に当たり、どのように権利者と交渉していくのか。

答 用地取得率は57%、支出済みの整備費用は約22億円。今後は、13年度の全線開通を目指し事業を進めていく。区間3は、警察の指導により区間4※2の整備後併せて開通する。用地の取得に当たっては積極的に買収の交渉を行っている。



白岡駅西口線の区間3

防災

災害廃棄物処理計画は

答弁…当市の人口データを基に作成している

問 本計画は、当市の実情に即した内容となっているのか。

災害廃棄物の仮置場を市民に公表し、受入先を明確にしておく必要があるのではないか。

災害廃棄物処理計画の見直しを考えているのか。

答 本計画は当市の人口や廃棄物発生量データを基に作成している。仮置き場の候補地の公表は関係部署と調整し、リスク管理や復旧活動の弊害などの両面から慎重に判断したい。地域防災計画との整合性も含め、本計画の見直しが必要な場合は速やかに対応していく。

※1 区間3は、白岡中央通りから白岡八幡神社の鳥居付近まで。

※2 区間4は、白岡八幡神社の鳥居付近から県道3号線まで。